

公明党
堀 重雄
議員

レアメタル等の回収とリサイクルについて

質問 今年8月に小型家電リサイクル法が成立し、当市も11月より回収を実施しているが、この法律の趣旨を伺う。また、市民への周知方法、回収目標を伺う。

答弁 デジタルカメラやゲーム機等の小型電子機器の中に利用されているレアメタルなどの貴重な金属が回収されず廃棄されていたことから、これらを再資源化することとを目的とした法律で、平成25年4月より施行されます。リサイクルリーンでは、8月から不燃ごみで回収された中からピックアップアップ回収を始めたほか、市では11月から市役所、江部乙支所、まちづくりセンターに無料の回収ボックスを設置し拠点回収を開始しました。周知については、広



▲小型電子・電気機器回収ボックス

報11月号、ホームページで周知、12月の町内回覧でお知らせします。また、回収品目が確定した時点で改めて周知します。また、回収目標も品目が確定した後に現在の試行実施状況を踏まえ、改めて設定する予定です。

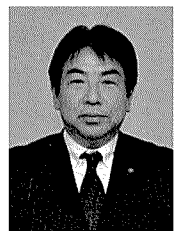
高齢者福祉について

質問 低所得の高齢者受け入れ施設について伺う。

答弁 緑寿園の特別養護、養護老人ホームがあります。特別養護はニーズが高く、待機者はおよそ百人となっています。低所得者の施設受け入れは喫緊の課題として取り組んでいきたいと思っています。

質問 持ち家の方で施設入所に伴い、家を売りたいが売れない場合の心配に対する市の取り組み状況について伺う。

答弁 市内のサービス付き高齢者住宅に移転を希望する場合、移転費の補助をし、住み替えの支援をしていきたいと考えています。また、一戸建て住宅への入居を希望する子育て世代で、特に低所得世帯への賃貸については、家賃助成を検討しているところです。



公明党
三上 裕久
議員

市長公約の実現性について

質問 任期折り返しを迎えるにあたり、市長が掲げた公約の実現は、どうなのか。公約立案時以降に発生した東日本大震災により状況が一変している。公約にとらわれることなく、優先課題を実現されることに多くの市民理解を得ることができると思うが、市長の考えを伺う。

答弁 実現したもの、まだ検討段階にあるものもありますが、任期の中で公約優先にとらわれることなく、緊急性・公平性・安全性・優先性を考える中で実現に向けて最大限努力いたします。

新体制の社会福祉事業団について

質問 市長が新体制の社会福祉事業団に期待し、望むことは何か伺う。

答弁 事業団への施設譲渡を基本に考えており、市の考え方が着実

に引き継いでいただけるよう、これまで以上に連携を密にして早期実現に向けて環境を整えていただきたいと考えています。

空き家を再生し、それを活用する考えについて

質問 国土交通省の空き家再生等推進事業を活用しての空き家再生の考えについて伺う。

答弁 市内には空き家の優良住宅などが多数あり、住宅ストックの有効活用が望まれています。設置を予定している住み替え支援協議会で、中古住宅や宅地などの不動産情報を紹介し、子育て世代の一戸建て持ち家住宅の促進、道外・市外からの定住促進のための住まいの総合情報サイトを構築することをめざしています。

今後、不動産売買の活性化、空き住宅の減少、リフォームによる工事量の増加、安心して子育てできる環境づくり等が推進され、地域の活性化につながっていききたいと考えています。



▲子育て世代の住宅